



大澤 清 議員

質問  
北海道地区での居住を誘導する区域はどこか

答弁  
市街化区域内の居住誘導区域及び区域指定集落へ誘導する

大澤議員の質問動画



議員  
立地適正化計画に基づく届出制度の趣旨について伺う。

都市計画課長

計画的なまちづくりを進めるため、居住誘導区域外における開発行為や都市機能誘導区域外における誘導施設の立地、都市機能誘導区域における誘導施設の休廃止の動向を把握し、各種誘導区域に住宅や誘導施設の立地を促すものとなっている。

議員

この届出制度は、コンパクトシティアンドネットワークを確立誘導するためのものとは到底感じられない。また移住者を誘導するため、北海道地区での居住を誘導する区域はどこか尋ねる。

都市建設部長

既存市街化区域内の居住誘導区域及び市街化調整区域における区域指定集落へ誘導していく。

議員

当市は、市街化区域が元々少ないため、現状では区域指定を含むのは仕方ないことと思う。区域指定に移住者を誘導する問題とし



佐藤 剛史 議員

質問  
投票所の今後について

答弁  
移動投票所や投票立会人など課題を整理し検討をすすめる

佐藤議員の質問動画



議員

各地区における高齢者の方の声として、徒歩等で行ける距離に投票所がなく投票に行きたいが行かなかった、もしくは今後行けないと考えているという声を聞く。投票したいのに行けない実態はとも残念であり、投票ができないと、まちづくりに対する思いも低下してしまうおそれがある。当市においては高齢者の方が自力で買物をすることが難しい地区に移動スーパを導入し好評をいただいているが、逆に言えばそれだけ自力で遠出をすることが難しい方が多い状況である。移動スーパの実績、どの地区に需要があるのかデータで分かっており、効率のいいルートも既に把握済みである。ぜひそれらを活用し、各地区の集会施設などをバスで巡回し投票を行っていただきたいが当市の考えは。

議員

具体的にどのようなコンパクト化を行い、どのように公共交通でつなぐのか、市街地の開発等も含めた総合的な計画を拝見したい。市民が望むことは市街地の活性化と、自分の望む手段で移動ができ、利便性が高く、安心安全な生活を送ることだと考える。しっかりと市民に目を向けて計画をしていただきたい。

総務課長

現在市内では期日前投票所を4か所、当日投票所を各地区に35か所設置している。期日前投票所のうちの2か所については、バスを利用した移動投票所として、令和

4年7月に行われた参議院議員選挙から商業施設内の駐車場に設置する運用方法をスタートさせ投票環境の向上に努めている。指摘いただいたバスを利用した移動期日前投票所に関しては、今後行われる複数投票の選挙にも対応が可能かどうかの検証を行い、各地区の集会施設などをバスで巡回して投票を行っていただく方法が導入できるように事務従事者や執行経費の確保、巡回場所の選定などの課題を整理し検討したい。

議員

投票立会人についても時間的な拘束による負担が大きいが、例えば午前と午後に分けてやっていただく選択制にできないのか。

総務課長

投票時間を前半と後半に区切って職務を交代する方法は法令上も可能であり負担軽減に極めて有効である。一方で、人員の確保や非常勤特別職の報酬に関する条例の改正などいくつかのハードルが想定される。検討を進め交代制の導入が可能であれば令和5年の市議会議員選挙から制度を周知したい。

【その他の質問】

★ゴミのポイ捨てについて